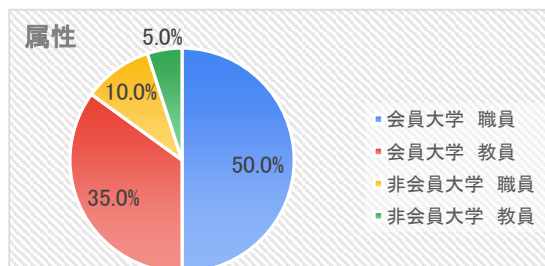


2021年度 第2回Salon De大学コンソーシアム大阪
 「学生のウェルビーイングとモチベーションを高める教育・支援について
 -学生エンゲージメントの観点から-」
 参加者アンケート集計結果
 回答者数20名/参加者数21名 回収率95.2%

1. 回答者について

会員大学 職員	10
会員大学 教員	7
非会員大学 職員	2
非会員大学 教員	1

20

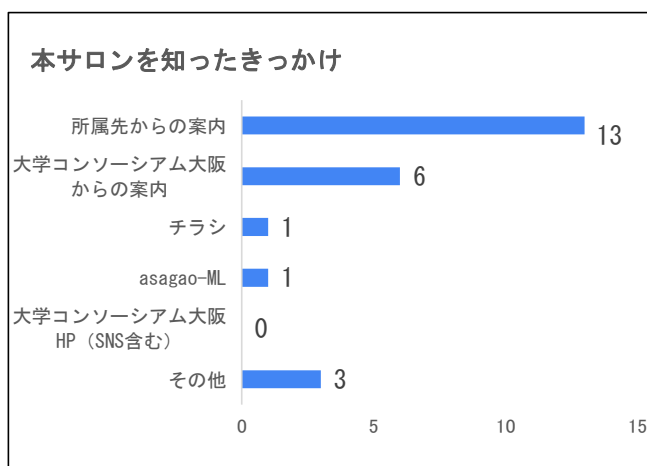


2. 本サロン全般について

(1) 本サロンを知ったきっかけ(複数回答可)

所属先からの案内	13
大学コンソーシアム大阪からの案内	6
チラシ	1
asagao-ML	1
大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)	0
その他	3

24



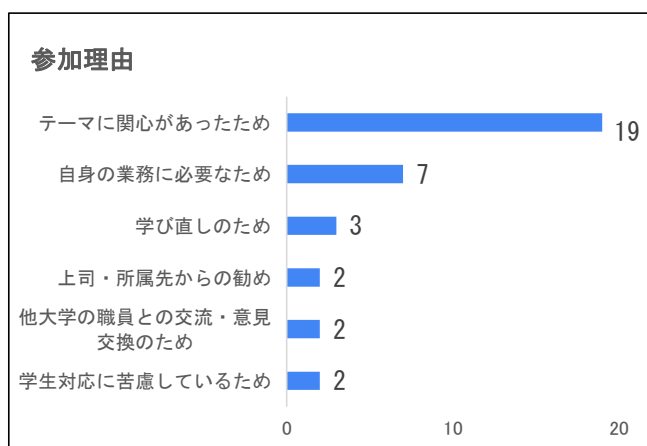
【その他】

清水委員からの紹介、知人の紹介、
 大学コンソーシアム大阪のSD研修

(2) 参加理由(複数回答可)

テーマに関心があったため	19
自身の業務に必要なため	7
学び直しのため	3
上司・所属先からの勧め	2
他大学の職員との交流・意見交換のため	2
学生対応に苦慮しているため	2

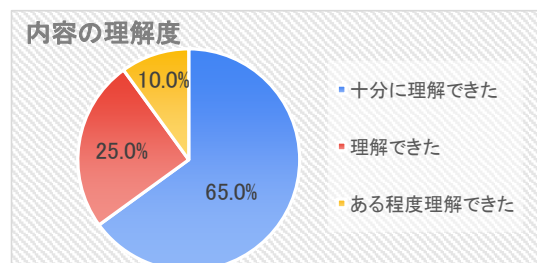
35



(3) 内容の理解度

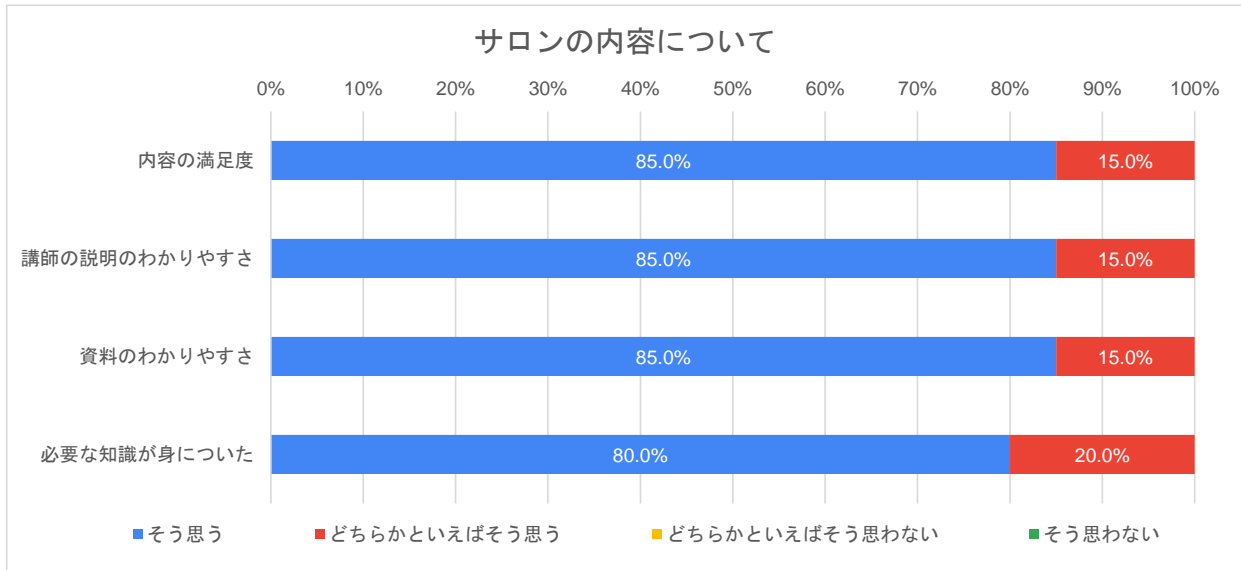
十分に理解できた	13
理解できた	5
ある程度理解できた	2
あまり理解できなかった	0

20



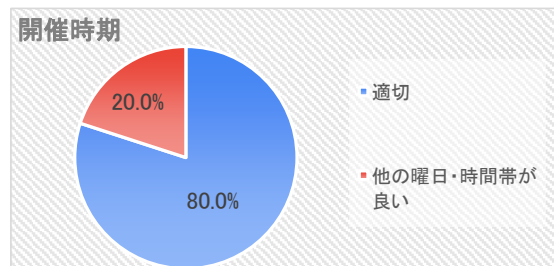
(4) サロン内容について

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
内容について満足しているか	17	3	0	0
講師の説明は理解しやすかったか	17	3	0	0
提示・配布された資料は分かりやすかったか	17	3	0	0
必要な知識を身につけることができたか	16	4	0	0



(5) 開催時期について

適切	16
他の曜日・時間帯が良い	4
20	

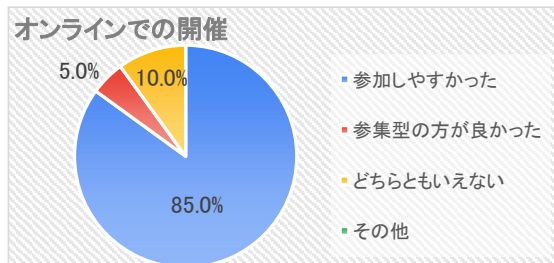


【希望する時間帯】

もう少し早い時間(他1件)、平日であれば、もう少し遅い時間
休日前の夜間は避けたい

(6) オンラインでの開催について

参加しやすかった	17
参集型の方が良かった	1
どちらともいえない	2
その他	0
20	



(7)本サロンに参加して良かったと思われる点

他大学と交流することができた。(他3件)
実践例が聞けた。(他1件)
学生エンゲージメントの考え方について、より詳しく知ることができた。
私自身が関心のある、そして教育において必要だと思う、ウェルビーイングについて最先端の話が聴けて、とても勉強になった。また、私自身も精力的に取り組んでいる学生へのフィードバックについて、具体的な工夫を知ることができて役立った。
自分のオンデマンドの授業についてとても学びになった。こちらから学生へは配信出来ていても学生がどれくらい理解したのか、少しの感想で見ているが、感想への返信をすることによって学生の学びへの意識が変わることがわかり、早速行ってみたい。学生たちは対面が学びやすい学生と、オンデマンドのほうが良い(学生同士の人間関係を抱えている学生など)学生がいる。今後、コロナが落ち着いても、オンデマンドを残せたら良いかもしれない。
学生に関わる上で困っていることが共有できた。学生の心理的安全性を高めないと、学習意欲が高まらないというのは納得できた。オンラインでの学生同士のディスカッションでは、仲良くなることに時間をかけなければならないと思った。そして、大人の側が疲れてしまっている、学生のモチベーションを高めることができないというのも納得できた。
講師の先生から直接アドバイスをいただくことができた。
今まで取り組んできた方向性が間違っていないと自信が持てた。
授業で学生のウェルビーイングとコミットメントの両方を高める方策を具体的に示していただき、大変ためになった。
オンライン授業が多い中であって教員が何をすべきかがわかったこと。
学生に対する関わりについて、自身の振り返りと気づきの機会となった。
教務から相当期間離れていたため、特にコロナ禍の現在の学生の学びの変化を知ることができ良かった。
成績のフィードバックとして、GPAの分布を公開することは効果が高いものか？本学では実施しておらず検討している。
教員だけではなく、職員も大変役に立つ内容で、本当に第2弾を期待している。
山田先生のサロンの雰囲気づくり。
和やかな雰囲気ですリラックスして参加できた。人の意見や考え方を聞くことは、どんな内容であっても自身を大きくするもので、新たな知識や考え方が生まれた。
10年以上前から気になっていた山田先生のお話を聴くことができたこと。職場の同僚に共有して意見交換して、プチSDをしたいと思った。

(8)本サロンをより良いものとするための提案

今回のテーマは、もっと学びを深めたいと思ったが、1回でしたので残念でした。単発テーマをいくつかよりは、2~3回連続で深めるという形もあってよいかと思う。
参加型にするのは、聞きっぱなしにならないので、とても良いと思う。

(9)上記以外の感想や意見

最初は、ブレイクアウトに参加するのは焦りましたが、思いのほか…楽しかった。
山田先生より資格試験対策講座の受講生のモチベーションを高める方法として合格者に経験を語ってもらうというアドバイスをいただき、私が担当している公務員講座や宅建士講座で合格者座談会を開催していることで方向性は合っていると思った。今までは合格体験談のみを語ってもらっていたが、もっとその学生の「人生のストーリー」を語ってもらい、その中で資格取得はどういう意味があり、これからどう展開していくかという未来も語ってもらうと、ほかの学生により刺さるのではとひらめいた。一度やってみます。ちなみに、印象に残ったキーワードは①行為主体性②プロセス重視③フィードバック④ヒューマニティーです。
大学を超えて、学べる場があることはありがたいと思った。温かい雰囲気の講師の方と参加者の方でとても気持ちよく参加できた。仕事(授業)の後に受けるにはとても良かった。

(10)今後、本サロンで取り上げてほしいテーマ

支援が必要な学生への対応。
学生支援に特に関心がある。
コーチング、メンターなどに関するテーマについて。

講師からのフィードバック

過日は遅い時間にも関わらずご参加いただきありがとうございます。アンケートからも、良い雰囲気の中で楽しく参加できた、自分自身の振り返りや気づきの機会になったなど、たくさんのポジティブなメッセージをいただけて、嬉しかったです。教育に関して、制度や仕組み、方法論が先行しがちですが、大人である私たち教職員が、これから大人になる青年にどう関わり、共に学び成長できるかに尽きると思います。そこが大学の最大の価値なのだ、コロナ禍でその想いはさらに強くなりました。引き続き、みなさまと交流できることを楽しみにしています。
